

第 1 回新方地区まちづくり会議の記録

会議名	第 1 回新方地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 7 月 2 5 日 (火) 1 9 時 3 0 分～2 0 時 4 5 分
参加者数	1 8 人
事務局	都市整備部：井出部長 政策課：山元副部長(兼)課長、濱野副課長、杉野主幹 都市計画課：西村調整幹、染谷主幹 市民活動支援課：笠井主事 新方地区センター・公民館：栗原所長 ランドブレイン：石村氏、伊藤昂氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議題 (1) 地区まちづくり会議について (2) 会長・副会長の選出について (3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について (4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について (5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について (6) 越谷市及び地区の現状について 意見交換 5 閉会
質疑応答	(3)第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について (質疑なし) (4)越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について 質疑：資料 3 「まちづくり方針図」において「9. 優良な農地の積極的な保全」の事業はどこで実施しているのか 回答：とくに船渡地区、大吉・向畑地区を中心に広域的に進んでいる。 (5)地区まちづくり会議提言書の進捗状況について (質疑なし) (6) 越谷市及び地区の現状について 質疑：人口データについて東大沢の地域がきちんと反映されているのか確認して欲しい。 回答：「土地利用図」には入っているので、「人口のグラフ」の方にも入っているかを確認しておく。

意見交換	<p>質疑：会議の開始時間は今後も19時30分なのか。</p> <p>回答：勤めている方でも参加できるように平日19時30分、土日17時からとしている。</p> <p>質疑：終了時間も決めた方が良くはないか</p> <p>回答：大体1時間から1時間30分くらいだと思う。議論の中身次第によって変わる。</p> <p>(質疑なし)</p>
------	--

第2回新方区まちづくり会議の記録

会議名	第2回新方地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年8月26日(火) 19時30分~21時15分
参加者数	14人
事務局	政策課：濱野副課長、杉野主幹 都市計画課：西村調整幹、染谷主幹 市民活動支援課：笠井主事 新方地区センター・公民館：栗原所長 ランドブレイン：石村氏、伊藤昂氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 質疑・グループワーク (1) 第1回会議についての質疑 ・「東大沢3丁目の人口」について ・「都市計画マスタープラン修正版」について (2) グループワーク ・グループごとに各テーマについて地区の強み・弱みの抽出とキーワード分類 ・グループ発表 4 その他 ・会議開始時間の変更(次回より会議開始時間を午後7時からとする) 5 閉会
質疑応答	質疑なし

■ワークショップ「地区の現状と将来のまちづくりについて」

目標① 防災・防犯対策に重点を置いた地域づくり【Aグループ】

① 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・通学道路が狭いので、通学時に危ない ・歩道の整備 ・道路整備の遅れ 	
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・バスがないため、交通が不便 ・高齢化と公共交通の促進 	
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、新方地区の消防団の指導で、自治会で防災訓練を行っている。今年は9/8(日)に公民館で行う。
見守り パトロール	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路に防犯カメラの設置を!! (5台設置) ・防犯灯の数が少ない ・バス停周辺の街灯が少なく、夜間は不安が多い【くすのき荘付近】 ・のぼり旗(火の用心・防犯用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの充実により、安全なまちづくりに役立つ ・新方地区あいさつ運動 ・各学校の登下校時の見守り・パトロール ・弥栄町4丁目安全パトロール(毎日)隊が、県の会合で市を代表して活動報告
公園 遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊ぶ場所がない ・公園がない ・市が開発すべき公園・広場の増加(必須) 	<ul style="list-style-type: none"> ・向畑公園ができた。 ・集会所と川崎神社が一緒なので公園ではないが、遊具があり、ネットも張りめぐらしてあり、ボール遊び等で子どものいる場所
水害避難	<ul style="list-style-type: none"> ・低地が多く、冠水が多い ・避難場所・避難先である公共施設までの道程が、水害の恐れあり ・市街地での避難場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・古利根川の近くに住んでいるが、水害には強い地区である
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所(特に学校体育館)の夏・冬の空調(国も含めた予算)【越谷市立北体育館】 ・通学路にもかかわらず、車両の通行が多く、スピードの出し過ぎが多く見られる【大杉公園通り】 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に地域内のクリーン作戦を実施している

■ワークショップ「地区の現状と将来のまちづくりについて」

目標② 地区の伝統行事やイベントを通じた人と人との交流づくり【Aグループ】

① 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
高齢化・参加連携	<ul style="list-style-type: none"> ・定年後「地域」と関わろうかな…と、漠然と考えている男性(30～50代)が多い。今から関わらなくてどうするの？ ・地区体育祭・自治会運動会等の参加増へ ・総合防災訓練等への参加促進 ・若い人が少ないので、参加者が高齢化している。体育祭の参加者を探すのが大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<PTA 現役世代が重要> PTA 活動は地域活動・コミュニティづくりのきっかけ(それに気づくか)
伝統行事		<ul style="list-style-type: none"> ・地区夏祭り・大会 ・昔ながらの地域なので、神社の祭礼を通して交流を行っている 【大杉神社周辺】
体験		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年 7/24 に、虫追い行事と松明づくり(新方小3年生)を指導している ・自然保全会を通して、田んぼの生き物調査、田植え・稲刈り、ホタルの放流 【北川崎】
環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ・新方川の草刈りの頻度 ・ごみ問題→不法投棄 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保全会を通して、田んぼの生き物調査、田植え・稲刈り、ホタルの放流 【北川崎】
スポーツ		<ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフ(年齢がかなり高い人が多い)への参加【弥十郎ふれあい公園】
地域行事	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館・老人センターへの種々のイベント等への参加促進【新方地区センター、くすのき荘】 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区文化祭を年1回実施 【新方地区センター】 ・地区グランドゴルフ大会を通じて交流 【大杉公園】

■ワークショップ「地区の現状と将来のまちづくりについて」

目標③ 地域の交通利便の向上と快適な道路環境づくり【Bグループ】

地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
健康のために歩く習慣		・健康のために歩くことも考えましょう！
科学技術の発展	・自動運転自動車の普及がまだ！ （事故防止策）	
公共交通の利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷行きのバスがあればよい 市役所や市立病院に行く際に不便【弥十郎】 ・病院(直行)のバス路線が欲しい【弥十郎】 ・バスが不便【大杉】 ・新方川東側にバスがない ・交通の便(バス)が無い・悪い 【大松、大杉、北川崎、船渡】 ・くすのき荘 北越谷ーせんげん台路線 （野田街道近くの者にとっては不便） ・鉄道・バスの手段がなく不便である 【大杉】 ・公共交通を考えるにも、まず平方東京線(の道幅の狭さ)を解決しないと前に進まないと思う ・県道平方東京線が狭く、バスが通れない ・平方東京線(足立越谷線)は、通学路であるが道幅が狭く、危険である 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行バスは現状満足【弥栄コース】 ・バス路線の整備【くすのき荘付近】 ・交通の便がある・良い 【弥栄循環バス くすのき荘ーせんげん台】 ・いつも乗客が多く見受けられる 【くすのき荘 北越谷ーせんげん台】
安心・静かな環境	・大型車が通れる道路があるためうるさい。	・大型車両が入ってこられない 【大杉神社周辺】
快適で安心な歩道	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない【北陽中学付近】 ・平方線は歩行者が安心できない ・歩道の段差が気になる【弥栄町】 ・住宅地内における一時停止等の標識がない【弥栄町】 ・道路のバリアフリーが充実していない段差がある【大吉橋】 ・栄新通りと新方川が交差する所に信号機がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調節池や野鳥の森等があり、自然に触れられる【大吉調節池周辺】 ・逆川沿いに緑が多い【逆川緑の道】 ・野田街道のバスの本数多くて良い 【大吉調節池周辺】 ・交差点に信号が多くつけられている
道路の整備		<ul style="list-style-type: none"> ・農道が整備されている【船渡】 ・県道の整備【船渡】
自転車のための道	<ul style="list-style-type: none"> ・古利根川沿いをサイクリングのための道にしたい ・自転車レーンなし（少ない）【弥栄町】 	

■ワークショップ「地区の現状と将来のまちづくりについて」

目標④ 豊かな自然・田園環境を生かした魅力ある憩いの場づくり【Bグループ】

① 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
緑地・花	・花が少ない	・まだ緑がある
学校		・校庭が広い
農地		<ul style="list-style-type: none"> ・広い農地(水田)がある【大松・大杉】 ・田畑が多い【大松・大杉】 ・屋敷林が残っているところが多くある【大松・大杉】 ・新方地区コミュニティ推進協議会(コミユ協)でする農園はサツマイモがよいと思う ・サツマイモ、ソバの育成【大松】
無形文化財		・無形民俗文化財の虫追いが盛大になってきた【川崎神社周辺】
池・水辺	・	<ul style="list-style-type: none"> ・調節池及び周辺が整備されている【大吉調節池】 ・調節池の活用大(散歩・ウォーキング・ジョギングが可)【大吉調節池】
緑と触れ合う場所	<ul style="list-style-type: none"> ・大落古利根川の右岸遊歩道をなんとか作ってほしい (松伏町側は一ノ割駅入り口、春日部中央病院、藤塚まで整備された) ・古利根川沿いの土手の道路整備 (サイクリング道路及びウォーキング道路) 	・
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の枝落しを3年周期に定期的に実施してほしい【弥十郎公園】 ・野鳥の森公園の遊具が少ない ・子どもが利用しやすい公園づくり 	
生態系	・天然記念物のしらこぼとを最近見たことがない	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物が多い【古利根川沿い周辺】 ・ホタルの育成に力を入れている【古利根川沿い周辺】 ・ホタルの育成に力をいれており、生徒も育成に参加している【コミ協・新方小・弥栄小】 ・自然環境に恵まれている【古利根川沿い周辺】

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化している [猛暑日]は 1978～1987年 37日間 2008～2017年 145日間 ・ECO こしがや環境ファミリー宣言&エコライフ DAY(県) (市民の関心度が低い) ・不法投棄がある【新方川沿い】 	
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・新方川土手の雑草が伸びていて安全面に不安がある【新栄中学校付近】 	

第3回新方区まちづくり会議の記録

会議名	第3回新方地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年9月24日(火) 19時00分～21時00分
参加者数	17人
事務局	政策課：濱野副課長、杉野主幹 都市計画課：西村調整幹、染谷主幹 市民活動支援課：笠井主事 新方地区センター・公民館：栗原所長 ランドブレイン：石村氏、伊藤昂氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 グループワーク ・グループごとに各テーマについて取組の提案、目標の見直し等 ・グループ発表 4 その他 5 閉会
質疑応答	なし

■ワークショップ「自分たちでできる取組」と「支援してほしいこと」の抽出

目指したいまち：(仮) 目標①：防災・防犯対策に重点を置いた地域づくり

＜Aグループの意見＞

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
防災活動	・防災訓練への参加	・毎年、台風が大型化しているので大木は切ったほうが良い ・災害の時、発電機を増やすことも必要
避難・道路		・避難場所と公園を併せた広場の整備 ・避難場所の充実 ・県道の拡幅なくして街づくり無し ・新方川堤防の灯り(足元) ・市街地から避難場所への避難経路の確保(逃げ道)
防犯見守り	・あいさつ運動の促進 ・登下校時の見守りパトロール	・防犯カメラの設置 ・新方川沿いへの転落防止対策
子供の安全遊び場		・田んぼ(耕作地)を広場にして子どもの遊び場とする
交通安全		・スクールゾーン(7:30～8:30)を設置し、ドライバーの意識向上策を検討 ・行政が主体となったコミュニティバスの運行 ・グリーンベルトなど速度を落とさせる対策 ・公共交通の利用促進

目指したいまち：(仮) 目標②：地区の伝統行事やイベントを通じた人と人との交流づくり

≪A グループの意見≫

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
高齢化 若者参加	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の古紙の収入で子ども会活動 ・学校 PTA と自治会と子ども会の連携 ・小・中の入学、成人の時に自治会からお祝い ・自治会・役所も若手の登用で地域の意識を高める ・子どもが参加をしやすい行事を企画し親も巻き込む ・SNS を利用し、楽しくやる ・地区体育祭で高齢者が多いので、それに見合った競技種目を考える必要あり 	
伝統行事 地域行事	<ul style="list-style-type: none"> ・地区フェスタのイベントを若い人の目線で見直す ・敬老の集いで、昼食会又は紅白饅頭を贈る（自治会） ・地域、地区の行事に子供の参加を促す（両親とのつながり）。 	
環境対策 マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄パトロール（年に4回くらい） ・看板の効果もあり、犬のフンは大分、少なくなった（コミ協） 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬のフン対策の実施（イエローチョーク作戦）

目指したいまち：(仮) 目標③：地域の交通利便性の向上と快適な道路環境づくり

≪B グループの意見≫

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
交通マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルール・マナーについて確認するとともに、周知、徹底を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察による交通ルール・マナー教室の実施 ・大吉調節池の歩道の通行ルール・マナーに関する啓発看板を設置する
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のために歩くこと ・健康のために歩くことを促進するために、各地域でリーダーを養成する ・「埼玉県コバトン健康マイレージ」に参加する（健康のため役立つ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康支援策情報発信 ・歩くための遊歩道を整備して欲しい
歩行者の安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・東京平方線の歩道は整備されていないものの、歩行者用グリーンベルト（緑色の舗装）があるので、子どもたちに歩行者用グリーンベルトを通行するよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で安心な歩道づくりのために、自転車用、歩行者用を分けたり、手押し信号を設置したり、交通ルールの指導、共通認識の徹底をする ・特に通学路、通学時間帯の安全を確保する ・水防訓練を子どもの下校時にはしない

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
		<p>でほしい（交通を阻害している）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない、木のかげで道が暗い
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の検討組織のなかで、地域に適した移動手段（バスだけでなく、乗合タクシー等）の確保に向け検討している。 ・地域での助け合い・ボランティアでの運送を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間バス会社ではなく、行政が主体となって公共交通の利便性を高めてほしい。 ・駅、市立病院、市役所、大型店舗（イオンレイクタウン等）への直通バスを運行してほしい。 ・公共交通に関する情報を分かりやすく発信してほしい。 ・道路幅員等に見合った車両を使用した新たな公共交通の導入。
道路の整備		<ul style="list-style-type: none"> ・農道の整備は計画的に行う ・車両の通行を禁止する等の措置を検討 ・通学路が狭いので（とくに大吉）、登下校の30分程度でも通行止めとしてほしい ・時間帯で一方通行等を検討する ・スピード取り締まり強化 ・平方東京線の拡幅ができないと小型バスの運行もできないと思われる
未来技術		<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転技術や新たなモビリティサービス等新たな技術を地域の移動手段の確保・充実に活用できるよう検討

目指したいまち：(仮) 目標④：豊かな自然・田園環境を生かした魅力ある憩いの場づくり

《Bグループの意見》

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
管理		<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地内、すべての電柱に街灯が設置されており、防犯上の死角がないようにする ・大落古利根川の右岸遊歩道を市で県に働きかけてほしい、松伏側は一ノ割まで整備されている ・大吉調節池について、もう少し、草刈りの数を増やして欲しい。草が高くなると道が狭くなる ・新方川土手、調整池の雑草の刈り取りを定期的（2か月に1回）に行う ・古利根川沿いの雑草が多すぎて、交通の妨げとなっている ・雑草が多いと不衛生（釣り人の排泄物）。不法投棄もされてしまう
活用しやすい空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・蕎麦の会の育成、蕎麦打ち体験 ・公民館周辺の水田のまわりにカカシでも（カカシ祭）飾ってはどうか、コスモスも限界が来ていると思う ・ホテルの育成に多くの方に参加してほしい（現在、コミ協、新方小、弥栄小のほか、一般の方2人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・調整池に花壇を設置する ・ボールで遊べる公園をつくり、筋力、体力の低下の防止をする。 ・地区フェスタの会場確保（旧住まいの情報館を毎年、借用したい） ・新方東部地区に子供用の公園が欲しい
意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化について真剣に考える。将来。地球はどうなってほしいかを考える。 ・埼玉県地球温暖化防止推進運動について関心を持つ。越谷市は児童・ファミリーに向けて宣伝し県の事業への登録を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の新築住宅には庭木がないため、行政の指導により緑を増やす

第4回新方区まちづくり会議の記録

会議名	第4回新方地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年10月29日(火) 19時00分～20時00分
参加者数	16人
事務局	都市整備部：林副部長(兼)開発指導課長 政策課：濱野副課長、杉野主幹 都市計画課：西村調整幹、染谷主幹 市民活動支援課：笠井主事 新方地区センター・公民館：栗原所長 ランドブレイン：石村氏、伊藤昂氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 (1) 提言書(案)について (2) 将来像の見直しについて 4 その他 5 閉会
質疑応答	(1) 提言書(案)について 会 長：4ページの取組1-1方向性④「災害時の体制づくり」のなかに「さらなるポンプアップ能力の増強」「ポンプの増設」とある。つい先日の台風19号の際は、新方川の橋を渡った側の左岸はすべて水没した。腰まで水につからなければ避難できない状態であった。「常設のポンプ」の増設をしておかなければならない。いざ災害が発生した時に業者を派遣してポンプを設置するのでは遅い。右岸の方は強固なポンプのため、被害が少なかった。今回は休日に台風の襲来であったが、平日であったらもっと混乱していたのではないか。新方川の右岸に人口の70%住んでいる。いざとなったら左岸を利用しないといけない。 委 員：田んぼが遊水地として機能して多少は助かったと思う。汲み過ぎると別の問題も発生するだろうからいいバランスで運用しなければならない。 委 員：ポンプもだが排水溝の整備もきちんとした方が良い。大袋わかば幼稚園付近は水が溜まっていた。道路がきちんと舗装されたところは排水溝があるが、そうでないところは住宅の排水が追い付かない。 委 員：4ページの災害の分野については「意識改革」という視点で項目を増やしてほしい。物事には即やらなければならないことと、長期的にやらなければならないことがあるが、長期的にみて、「災害のもとを絶ち、自然災害が起きないよ

うにする」、つまり地球温暖化防止のための取組をすべきだと思う。今回の台風も自然災害ではなく、人的災害ではないかという意識改革が必要である。

会 長：向こう 5 年の提言書であるのでテーマが少し大きすぎると考える。

事務局：4 ページの取組 1-1 ①の〈地域でできること〉として、「地球温暖化に対する意識改革」という項目を加えるのはどうか。

会 長：地域住民で自主的にやることとして加筆したい。

委 員：「道路拡幅」について触れないのか。農道がそのまま一般道になっている場所は道路が狭い。

事務局：6 ページの 取組 3-2 の②「歩行者が」《市への期待》のところへ、「県道・市道の拡幅の検討・整備」を加えたい。

委 員：5 ページの取組 2-1 方向性①の中の「新方地区フェスタへの支援」については会場の確保をして欲しい。

地区 C：フェスタ実行委員会で会場の確保について依頼し、毎年使えるように要望をしていく必要があると考えている。

会 長：4 ページの取組 1-1 ②の中の「新方川堤防から新栄中学校までの直接避難が可能な通路の設置」については、新栄中学校だけでなく、すべての避難所を対象とし、避難可能な通路の確保としてほしい。

事務局：「新方川堤防から避難場所への直接避難が可能な通路の確保」と修正したい。

(2) 将来像の見直しについて

委 員：公共交通・道路環境における「未来技術」というのはどういう意味か。

事務局：前回のワーキングで出てきた自動運転などの先端技術のことを指している。

委 員：将来像という意味で、変わるものと変わらないものがある。先人がつくった「自然を生かし」の「生かし」が非常に重要。命をつなぐ意味もある。「自然を生かし」という表現は取ってはいけないと思う。変えたとしたら後半部分だと思う。

一 同：異議なし

会 長：文章が長くなると理解しにくくなるので、現行の将来像のままでいいのではないか。

事務局：問題なければ見直しなしでこのままとしたい。

一 同：異議なし

(3) その他

会 長：配布した地図は新方地区の標高を表したもので、地区の皆さんが知っていた方が良く思ってお配りした。古利根川沿いは標高が高いが、新方川に近づくと標高が低くなる。ご自身の住宅の浸水の可能性について、把握しておいた方がよいと思う。国土地理院のホームページからも参照できる。

以上